

【議事概要】椿泊漁港荷さばき所

委員: 正社員6名と嘱託2名のスタッフで計画しているが、基本土日祝日は休みか。

申請者: 荷さばき所業務をしている職員は、土曜日と平日半日が休みである。

委員: 8名で、勤務は何時から何時までか。

申請者: ローテーションがあるが、8時出勤は4時15分まで。7時出勤は3時15分まで。労働は1日7時間15分。半日は3時間30分となっている。

委員: 業務的にきついことはないのか。

申請者: いっせいに漁師が帰ってくると手が回らない時もあるが、その際は漁業者やその家族が手伝っていただいたりできているので、今のところ対応できている。

委員: HACCP(ハサップ)に準じた衛生管理とあったが結構ハサップは難しいかと思うが。

申請者: 先日初めて研修受けたので、まだ掴みきれてないところもあるが、これから勉強して行こうと思う。

委員: 衛生管理が大きなテーマになっていくと思うが、これから管理者も勉強していくということか。

申請者: はい。今年中にあと1回研修を実施する予定にしている。

委員: 研修は漁業者も含めてか。職員だけか。

申請者: 1回目の研修では漁業者も仲買業者も職員も、できるだけ参加してもらえようようにして実施した。

委員: もう1度聞きたいのだが、勤務体制について、日曜日は休みではないのか。

申請者: 日曜日は荷さばき所は開いている。就業規則、事務所の職員は日曜日が休みだが、荷さばき所職員は土曜日が休みで日曜日は勤務日。土曜日は事務所職員が午前中だけ荷さばき所に行って、土曜日は限られた漁船の方しか漁に行かないので、事務所職員で荷さばき所の方をやっている。

委員: 収支について、業務報告書の損益計算書で、1の(5)のところがいわゆる荷さばき所の収益ということか。

申請者: 販売事業がそうである。

委員: 水揚げ高が5年間で1.4倍になるというような計画だと思うが、魚価の向上単体で実現していくものなのか、収量の増加と単価が上がる掛け合わせで1.4倍になっているというようなイメージがあれば教えていただきたい。

申請者: 水産物の集約、高度衛生化で魚価が上がり、年1%ぐらい上昇を想定している。魚が様々なところから集まり、仲買も増えたら、競争で魚価も上がるので、その分を見越して、このぐらい上がるであろうという算出をさせていただいている。

委員: 人員のところ、職員8名は、現在荷さばき所で働いている人がそのまま8名スライドするというイメージ、プラスもマイナスもないのか。

申請者: 今のところ、今働いてる方に。

委員: この5年の中で人員を増やしていくような予定はあるのか、それはしなくても運営はできるという認識なのか。

申請者: 現在の荷さばき所の規模よりもだいぶ広がるが、今の時点ではこの8名でいく予定である。

県: 補足だが、これまで入荷したらフォークリフトで運んでいて、人がある程度動いていたが、今回ベルトコンベアを整備しており、ベルトコンベアで選別まで行けるとなれば、その分人手もかからない、そういう労働力の軽減も踏まえて、水産物が増えても対応できるのではないかと考えている。氷も必要なところまで供給できるよう整備しており、労力軽減の部分は整備の中でも考えている。

委員: 取扱量について教えていただきたい。収支計画で増えていくのは、取扱量と単価が向上するからとのことだが、さらに増やそうと思えば、周辺漁協のものが入ってくることを期待するのか、積極的に集めていくのかどちらかになると思う。計画書に近隣水産物の集約について記載があり、これまでのノウハウを活かして積極的に地域漁業者の水産物を集めることになると思うが、具体的に水産物を集めるための手順、営業、推進体制、ただ待つというのではないと。多分これは指定管理者のみがするのではなくて、例えば、阿南市内7漁協で集約して効率的にというような

動きも別途あって、その推進体制と合わせての動きも必要になるのかなと思うが、具体的に、取扱量を増やすためどんなイメージかを聞きたい。

申請者: 浜プランを実施しているので、声かけとかは市の方からもしていただいている。

委員: 浜プランは、実現に向けた推進体制が市役所も含め 7 漁協が参画しており、受入体制は十分整ってます。皆さん持ってきてくださいというのをどこで発信する想定なのか。

委員: この計画書にも書いてあるように、青年部の集まりなどでもそういうことを説明されている。それから、阿南市水産振興協議会でも十分説明されており、おそらく前々からこういう努力、浜プランの関係もあって、宣伝というか、水産物をここに持ってきたら高度衛生管理になって品質もすごくいいし、値段も上がっていくといった話で繋がっていくと。

委員: そこがどこまでできるかが、この事業の 1 番の最大の課題かと。単価アップは当然、今も既になんかいい状態にあると思うが、さらにトップを高みを目指していくって感じではないかと。

委員: 色々と新しい機械も入っていくようなイメージをしているが、それに対する習熟度というのは、スタッフはこれから研修か、整備と並行して研修しながらやっていくのか。

申請者: 建物自体は今まだ建設中なので、ベルトコンベアなどは具体的に何もできてないが、今伝票、手書きでしている伝票をタブレット方式に変わる予定で、その練習はもう職員はやっている。

委員: 実際に魚を持ってくる漁業者の方々は、この新しい場所ができて、新しいシステムになることをどういうふうに受け止めてらっしゃるのか。

申請者: 私は直接現場のものではないのだが、手書きよりは見やすい、間違いのないようなものになるのはいいことだというふうにはおっしゃっている。

委員: それは水揚げした魚を秤にかけて、渡す伝票というのが自動になるというイメージなのか。

申請者: タブレットで入力して、紙で出てくる。

委員：入力間違いがないか心配。そこが一番大切なのだが。

県：習熟ということで質問があったが、この施設のオープン、指定管理の開始は5月頭からを予定しているが、施設の完成自体は今の計画通りに行けば2月末には設備も含めて完成する。そこから実際にオープンするまでベルトコンベアや、同じような機械装置にしても新しくなるしフロアも広くなるのでやはり習熟期間は必要だと考えており、5月のオープンまでの期間に習熟していただいて、オープンときには慣れていただいた状態で運営が開始できるよう想定している。

委員：例えば準備期間であるとか営業が始まってからの期間に施行業者がアフターケアのような形で習熟サポートしてくださるとか、別の業者なりサポートに入ってくださいとかそういう話とかはあったりするのか。

県：県が設備を11月過ぎぐらいから設置し始めるが、メーカー保証があるので、故障があればそこで対応してもらえるような制度にはなっている。使い方については取扱のマニュアルもメーカー業者が作成してくれるので、現場での研修とかマニュアルを我々から指定管理者にお渡ししながら習熟していくというように考えているところ。

委員：直接自分が発注者であれば施工業者に対して言いやすいと思うが、県が今回は間に入っているので、不具合とかはもちろんサポートは入ってくださると思うが、習熟に対するつなぎを県が入れていただけたら、よりスムーズと思うのでぜひお願いしたいと思う

県：発注している請負者も基本的に水産業の荷さばき所に全国でも納入実績のあるところとなっている。使いやすいものを検討した中で選定している設備になるので、問題なく引継ぎも含めて対応していきたいと思っている。

委員：荷さばき施設を利用する人は、特に漁師の方でしたら沖で魚をきれいに活かして、きれいに扱って組合に持って行ったら高度衛生管理で高く売れるということを漁師の方が十分理解して、仲買の方も同じようにきれいに扱って高く売ってという努力をしてくれたら、この計画はけっこうハードルが高いと思うが、それがクリアできるのではないかと考えているので、皆さんが協力しあって理解して進めていただけたらと思う。